



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成25年10月8日(火) 第2649回 例会 (本年度第13回)

10月12日(火)	東京東江戸川IRC45周年・盟約20年記念式典
10月15日(火)	RI規定休会
10月22日(火)	ゲストスピーチ 山形中央高校野球部 監督 庄司秀幸氏(元鶴岡工業野球部監督)
10月29日(火)	親睦夜例会 黒豚家族例会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

鶴岡ロータリークラブ
ホームページ



会長挨拶

嶺岸 禮三 君

本日第5回理事会を開催し、当クラブ創立55周年実行委員会を決定いたしましたのでお知らせいたします。

実行委員長： 真島 吉也
式典委員会：委員長 富樫 松夫
祝宴委員会：委員長 越智 茂明
総務委員会：委員長 樋渡美智子
接待委員会：委員長 加藤 亨
記録委員会：委員長 菅原 成規
会計委員会：委員長 小林 健郎 (敬称略)

9月27日、ジャンジブさんの歓迎会が天童ホテルで開催され、立場は違いますが当クラブから藤川、塚原両PG、佐藤孝子新世代奉仕委員長、我々会長・幹事が出席しました。新モンゴル校のナランバヤル校長も一緒でした。校長先生とはグローバル補助金の関係で何度かメールで連絡を取り合ってきましたが、若い校長先生でびっくりしました。40歳前半だったと思います。京都大学に留学し、モンゴル環境省のナンバー2だった彼が、役所を辞めジャンジブさんのもとで働くようになりました。ジャンジブさんはいい方を得たと感じしました。補助金関係では、ジャンジブさんが所属するモンゴルのロータリークラブがすでに別のプロジェクトで動いており、その調整に時間がかかっていましたが、何とか目途が立ちそうだということでした。申請書が届き次第動くつもりであります。

9月28日には新世代セミナー、9月30日には金峯山参道視察登山がありました。これについては各理事・委員長から報告して頂きます。両日参加された皆さんご苦労様でした。

幹事報告

小林 健郎 君

ガバナー事務所

○13-14年度地区大会 記念講演傍聴のおねがい

オランダの教育

世界の国民が幸せを感じているかどうかを調査した報告書が発表され、ランキング首位のデンマークをはじめ、欧州北部の5カ国が上位を独占した、というニュースがありました。報告書は米コロンビア大学地球研究所が、昨年に続く第2弾として発表しました。世界156カ国で2010~12年に調査を実施し、国民の幸福度を10段階で示しています。それによると、上位5カ国はデンマークに続いてノルウェー、スイス、オランダ、スウェーデンとヨーロッパが独占しています。ちなみに日本は43位でした。

オランダは国民の幸福度で4位、ユネスコの調査で子どもが幸せな国第1位になったことがあります。これを踏まえオランダの教育について話してみたいと思います。私の話はあくまでも日本とオランダの違いの説明であって、教育制度について優劣を批評するつもりはありませんのでよろしくお願いします。

オランダでは4歳か5歳で小学校に入学します。小学校は8年間です。その後中学校に進みます。中学校までが義務教育です。小学校の授業は、9時から始まり12時で午前が終わりです。大抵の子供は家に帰り昼食をとります。午後は2時から4時まで。クラスの人数は18人くらい、学校全体で120人くらいの学校が多いようです。週五日制で水曜日は午前中だけ。水曜日の午後はスポーツクラブに通ったり、音楽や美術教室に行ったりする子が多数です。こうしてみると、小学校には日本より早く入り、期間は2年長い8年間で、クラスは少人数制、学校の規模は小さいといった違いが見られます。

日本の教育は文部科学省が管轄しますが、オランダでは、憲法23条の中で、「教育の三つの自由」が保障されています。この三つとは、設立の自由：200人の子どもを集められれば、自分たちで学校を作ってもよい。理念

の自由：宗教色を出しても、他のことで特徴を出しても良い。教育方法の自由：教育内容、教材の裁量権が自由。この三つの自由には、国は一切口を出さないことになっています。

オランダの中学校は三種類あります。小学生は卒業する頃までには、自分の進路を決めなければなりません。普通中学校と呼ばれる学校か、初等職業学校と呼ばれる学校か、または大学進学を目指す中学校か、この三つから自分の適性に応じて選ばなくてはなりません。もちろん卒業試験の成績が関係しますから厳しい訳ですが、進学競争というイメージとは違い、いずれの中学校に入っても進路変更は可能です。最終的には職業人になるのですから、早いうちからいろんな職業を学び、その中から自分に向いている仕事を身に付けることは大きなことだと思います。日本では小学校を出たばかりの子に将来を決めさせることはしません。小学校を卒業するとみな同じ中学校に進みます。

オランダは職業教育が充実していて、2年前の研修で見せてもらったROCもそのような地域の職業教育とトレーニングを担う大学でした。企業や自治体が資金を出しています。特長は、200以上のカリキュラムがあること、12,000人以上の学生と訓練生がいること。学生はフルタイム(全日制)と、働きながら学び訓練を受けるパートタイムに分かれます。地域内に多くの雇用主がいること。(約1,250社)。一番印象に残ったのは、ROCの中に学生自身が運営する店舗があることでした。旅行社、レストラン、美容室など。苦労しながらも学生たちは会社を経営し、生きたビジネスを学んでいました。

オランダには国立大学が8つあります。大学に入るためには高校卒業時の卒業試験がものをいいます。その試験で好成绩を上げるとディプロマ(diploma)が与えられ、8つの大学のどの学部にも入学することが出来ます。人気の学部には大勢学生が集まりますが、定員オーバーになったらくじ引きで決めるということでした。最近オランダに10年住んで帰国された方と知り合いになり、くじ引きが本当の話なのだと分かりました。その方の話によると、オランダ生まれの日本人でとても成績のいい子が勿論優秀な成績でディプロマを取得し、ある大学の医学部を希望しました。しかしくじ引きで外れ、その子はお医者さんにはなれませんでした。がんの研究機関に勤め頑張っているそうです。志の高い人は違うなと感じた次第です。皆さんはどうお考えですか？

委員会報告

◆青少年奉仕理事

武田 啓之君

9/28(土)新世代セミナーが天童であり、鶴岡クラブからは会長・幹事、武田、菅原、青柳、富田、本間(喜)、佐藤(孝)の8名が参加しました。基調講演は新モンゴル高校の理事長ジャンチブさんでした。講演テーマは「地球市民を育てる」で、その中で自分の苦学時代の話

もありました。バイタリティーのある、家族を大事にしている方だと思いました。

◆インターアクト委員長

佐藤 孝子君

インターアクトの活動は報告してありますがまだまだありますのでよろしく願います。新世代奉仕セミナーにクラブより大勢参加していただき感謝。セミナーがジャンチブさん始め米山奨学生、青少年交換学生などの力もあり成功してホッとしています。

◆ローターアクト委員長

菅原 成規君

鶴岡ローターアクトは19名で活発に活動しています。地区内最大の会員数を誇る山形のクラブはローターアクトが無く残念に思っています。

第3ブロックの5クラブが合同で「さくらんぼローターアクトクラブ」結成に向けて頑張っています。皆様には鶴岡ローターアクトクラブ例会への出席をお願いいたします。

◆米山奨学会委員長

富田喜美子君

10月は米山月間でもあるので皆様から米山奨学会に対する理解を深めてもらいたいというお話がありました。11月の第一例会では山大到留学中の馬可さんにスピーチをお願いしてあります。

5人の奨学生がスピーチし、奨学生になって本当に勉強に専念できるようになった、ロータリーの例会に出席するようになっていろんな方と交流できるようになりさみしさから解放された、ジャンジブさんの話を聞いて何故自分が奨学生になれたのか、何をこれからすべきかわかったというお話が共通して聞かれました。日本に二人しかいない「よねやま親善大使」で山大教授のユウ・ミンホアンさんから世界との交流の懸け橋になりたい、米山奨学生は何らかの形で恩返しをと強調されていました。

◆社会奉仕理事

加藤 亨君

日曜日、11名で金峯山に行ってきました。状況は登るところに大きな穴があったりして荒れているのが分かりました。取ってきた写真をインフォメーションボードに貼ってありますのでご覧ください。何をするか実行するのは次年度からということになりますが、計画は今年度にまとめたいと思っています。

◆出席委員会

◎メイクされた方

藤川亨胤・佐藤孝子・塚原初男・牧 衛
俣野秀樹・菅原成規・武田啓之

スマイル ☺

佐藤孝子君 9/28(土)新世代セミナーにクラブより大勢参加していただきありがとうございました。

加藤 亨君 金峯参道視察登山ご協力ありがとうございました。

嶺岸禮三君 新世代セミナー、金峯参道視察登山に参加いただきありがとうございました。加藤理事さんの息子さんからも助けて頂きました。

出席報告

会員数	40名
出席	28名
出席率	75.67%
前々回確定出席率	83.78%

RI会長 ロンD・バートン

地区ガバナー 新関 彌一郎

会長／嶺岸禮三 副会長／越智茂昭 幹事／小林健郎 会長エレクト／丸山隆志
会報委員会／嶺岸禮三・本間 厚・石田 雄・丸山隆志

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376